

資料室ニユース

2023年3月号

編集・発行：一般財団法人とよなか人権文化まちづくり協会（豊中市委託事業）

購入図書（2023年1月～23年2月分）

・非部落民の部落問題

（解放出版社 編：朝治武・黒川みどり・内田龍史 P276）：2,750円

【内容】

部落問題は近現代日本社会における社会問題の重要なひとつであり、その解決は非部落民衆の部落民衆に対する差別的な言動と意識を改めるだけでなく、部落問題を存在せしめている日本社会の変革をも必要とするものである。

したがって部落解放という課題は日本社会全体の問題であるだけに、圧倒的少数者である部落民だけの自主的な行動によっては不可能であり、圧倒的多数者の立場にある非部落民が部落問題に向き合うにあたっての理解と努力が重要な鍵を握っていると言えよう。

1890年代からの部落改善運動と1910年代からの融和運動には、多くの非部落民がかかわることになった。そして、1950年代後半から部落解放運動の急激な発展を契機として部落問題に対する社会的関心が高まり、1965年の同和対策審議会答申では部落問題の解決は「国民的課題」とされ、非部落民を主体とする役割は徐々に大きくなっていった。また、部落民であろうが非部落民であろうが部落問題に向き合っているかぎり、何らかの逡巡や苦悩などが存在している。つまり非部落民アイデンティティも射程に入れることは、部落解放の外延的拡大に関係することに他ならない。この本では、部落問題にかかわった行政・教育・法曹・社会運動関係者、ジャーナリスト、作家など、近代以降に活躍した非部落民の人物と活動を紹介する。



・母親になって後悔してる

(新潮社 著・文：オルナ・ドーナト 翻訳：鹿田 昌美 P320)：2,200 円

【内容】

子どものことは愛している。それでも——。
世界中で大反響を呼んだ一冊。もし時間を巻き戻せたら、あなたは再び母になることを選びますか？

この質問に「ノー」と答えた 23 人の女性にインタビューし、女性が母親になることで経験する多様な感情を明らかにする。女性は母親になるべきであり、母親は幸せなものであるという社会常識の中で見過ごされてきた切実な想いに丁寧に寄り添った画期的な書。



・差別のない社会をつくるインクルーシブ教育

誰のことばにも同じだけ価値がある

(学事出版 著・文・編集：野口 晃菜・喜多 一馬 P256)：2,860 円

【内容】

障害、貧困、包括的性教育、いじめ等をテーマに、差別のないインクルーシブな教室・社会をどうつくっていくか考え、行動するきっかけとなる本。

・15歳からの社会保障

人生のピンチに備えて知っておこう！

(日本評論社 著・文：横山 北斗 P224)：1,650 円

【内容】

家族、学校、お金、仕事、住まい、体調…。生活の困りごとに対応するための社会保障制度。知識があなたや大切な誰かの力になる。



資料室の利用方法

図書の出借は1回につき原則3週間、5冊までです。期限は厳守してください。
貸出カードに名前、住所をご記入ください。電話、FAX、メールでも受け付けています。
連絡便での貸出・返却が可能です。貸出中の場合はご了承ください。

〒561-0884 豊中市岡町北3-13-7

Tel: 06-6841-5300 FAX: 06-6841-6655 mail:bwz37306@nifty.com

